

日付	発表者	発表題目
1996.11.26	佐藤正伸	奈良時代の密教について
1996.12.11	山陰加春夫	空海と奈良末・平安初期の社会
1997.1.21	村上保壽	奈良朝仏教の研究に関連して
1997.2.18	南昌宏	空海の中国古典理解
1997.4.23	武内孝善	空海と唐代の密教—灌頂をめぐる—
1997.4.25	スニタナンダ比丘	バングラデシュの密教美術
1997.5.20	生井智紹	華嚴経における陀羅尼
1997.5.27	佐藤隆彦	浄行について
1997.6.22	山陰加春夫	弘法大師伝の完成と一円寺領の成立
1997.7.24	永ノ尾信悟	ヴェーダ祭式からヒンドゥー教儀礼へ
1997.10.2	南昌宏	空海における中国思想の受容
1997.10.11	森雅秀	インド密教の形成に関する視点と方法
1997.10.11	室寺義仁	五相成身観の導入意図をめぐる
1997.11.23	武内孝善	『東塔院義真阿闍梨記録円行入壇』をめぐる
1997.11.26	山本幸男	早良親王の境涯—奈良末・平安初期の政治と仏教—
1997.12.9	星宮智光	中国仏教と『十住心論』
1997.12.11	大久保良峻	台東両密における行位論
1997.12.19	乾仁志	『理趣経』と『金剛頂経』の関係について
1998.1.20	村上保壽	『日本靈異記』の史料性について—主として文学的研究における扱いを中心に—
1998.3.2	高木神元	総括
1998.3.4	奥山直司	初期密教とrakṣa文献

1998.3.4	大塚伸夫	『華嚴経』 「入法界品」 と 『金剛手灌頂タントラ』
1998.6.22	野口圭也	密教におけるサハジャ思想と如来蔵思想
1998.6.22	森雅秀	オリッサ州カタック地区出土の観音像
1998.10.12	生井智紹	密教の展開について—国際チベット学会に出席して
1998.10.12	山下博司	南インドと密教をつなぐもの
1999.2.2	室寺義仁	唯心と密教的瞑想法の源流について
1999.2.2	乾仁志	『初会金剛頂経』 における如来蔵思想の展開について
1999.4.20	奥山直司	埋蔵と化身
1999.7.21	岩崎日出男	不空の時代の内道場について
1999.10.4	高木諄元	婆羅門僧正と瑜伽密教
1999.11.15	高木諄元	大安寺戒明と釈摩訶衍論
2000.1.31	岩崎日出男	不空入寂から恵果伝法にいたるまでの密教の現状について
2000.2.29	山陰加春夫	中世「寺院縁起」の新・史実化—善通寺・珍皇寺の場合—
2000.5.15	越智淳仁	大乘仏教から密教へ—『華嚴経』 の加持を中心に—
2000.6.19	高木諄元	般若三蔵と空海
2000.7.24	室寺義仁	諸仏との遭遇のための三要件について—功德力・加持力・法界力への展開—
2000.9.29	岡村圭真	大師の教学思想解明の新視点
2000.10.30	森雅秀	インドにおける密教美術の成立と展開—インド・バングラデシュ現地調査報告—

2000.12.4	岩崎日出男	般若三蔵にかかわる二三の問題について
2000.12.18	山陰加春夫	中世寺院と「身分外身分」の人々―「承和の御遺戒」の再解釈をめぐって―
2001.1.31	小野博	デジタルアーカイブの課題と事例
2001.2.15	河廷龍	韓国古代の土俗信仰と密教
2001.6.4	藤田光寛	大乘仏教から密教への一視点
2001.6.11	安藤和雄	バングラデシュの農村と暮らし
2001.7.6	森雅秀	密教図像とボン教の神々
2001.7.16	岩崎日出男	恩の語義と四恩について
2001.10.15	山陰加春夫	高野山一心院と同院領荘園―弘法大師経行の地のその後―
2001.11.12	越智淳仁	『五秘密儀軌』の「法の定型句」の起源と意味
2001.12.17	室寺義仁	空海の「一心」について―「識」についての仏教教義解釈と対比して―
2002.1.21	前谷彰	奈良・平安期における山林修行をめぐる問題
2002.2.12	河廷龍	善無畏と恵通―『三国遺事』恵通降龍条と新羅密教―
2002.2.12	スティーブン・トレンソン	請雨経法の研究―その日本の実施と歴史―
2002.5.24	奥山直司	インド・シッキム地方調査報告
2002.6.26	西山良平	奈良・平安前期の社会・政治情勢
2002.7.23	乾仁志	バングラデシュ現地調査報告

2002.9.10	大塚伸夫	『牟梨曼荼羅呪経』に見られる初期密教の特徴
2002.9.10	野口圭也	毘盧遮那を中尊とするマンダラ
2002.9.10	森雅秀	密教儀礼と建築術
2002.10.28	藤田光寛	瑜伽戒と受戒法
2002.10.18	岩崎日出男	般若三蔵の恩（再説）と国土観に関する二三の問題
2002.11.15	前谷彰	密教の概念をめぐる問題
2002.12.17	山陰加春夫	院政期の高野参詣—『御室御所高野山御参籠日記』を中心に—
2003.1.24	越智淳仁	法門寺の八大明王について
2003.3.19	室寺義仁	空海40代前半の思索の一特性について
2003.3.19	河延龍	三国遺事に見える山神関係記事の意味
2003.7.28	奥山直司	明治20年代前半の印度留学生の事績
2003.9.1	大塚伸夫	最初期密教の実態—『孔雀明王経』を中心として—
2003.9.26	森雅秀	インド・ラダック地方チベット仏教寺院調査報告
2003.10.3	武内孝善	空海の家と入唐
2003.10.27	岩崎日出男	『唐大興善寺故大弘教大辯正三蔵和尚影堂碣銘并序』について—その史料的 位置付けと価値を中心として—
2003.11.25	中村本然	真言密教における如意宝珠〈信仰〉
2003.12.16	藤田光寛	チベット大蔵経研究の若干の課題
2004.6.28	岩崎日出男	杜鴻漸撰述『金剛智三蔵和尚記』の逸文について

2004.7.8	藤吉圭二	博物館等におけるウェブ上での資料公開の現状と課題
2004.9.27	森雅秀	バングラデシュ国立博物館所蔵の密教美術
2004.10.28	大塚伸夫	『出生無辺門陀羅尼経』に見る最初期密教の実態
2004.11.11	中村本然	道範記『菩提心論談義記』について
2004.12.14		日韓国際学術交流大会
2005.2.8	北川真寛・土居夏樹	真言・天台における論議について
2005.3.3	奥山直司	青海省同仁県ゴムル寺のチャム
2005.3.3	武内孝善	空海の誕生地をめぐって
2005.6.27	静春樹	金剛乘におけるガナ・マンダラの系譜
2005.6.27	北川真寛・土居夏樹	東台両密における即身成仏思想
2005.7.4	松居竜五	南方熊楠の土宜法龍宛書簡をめぐって
2005.9.13	川崎一洋	『般若理趣経』と『真実摂経』
2005.9.13	苦米地誠一	『高野山往生伝』の成立について
2005.9.13	堀内規之	二十二卷本『表白集』と濟暹
2005.10.7	大塚伸夫	『無量門微密持経』の密教的展開について
2005.10.7	田中悠文	日本密教にみる秘義の流伝
2005.11.18	スティーブン・トレンソン	神泉苑善如龍王と醍醐寺清滝権現の関係
2005.12.16	王益鳴	中国古代文学理論から見た空海研究の学術的価値
2006.3.24	奥山直司	故宮調査報告
2006.3.24	乾仁志	弘法大師の両部思想
2006.3.24	中村本然	『金剛頂経開題』の構想について

2006.6.23	高松哲雄	傾聴すること—スピリチュアルケアの原理と実際—
2006.7.3	生井智紹	国際化された現代社会と真言密教
2006.7.10	川崎一洋	南詔・大理国時代の密教文献
2006.7.10	静春樹	金剛乗の阿闍梨によるタントラ分類について
2006.9.25	中村本然	道範撰『金剛頂経開題勘註』について
2006.10.16	乾仁志	『秘蔵記』の曼荼羅について
2006.10.23	奥山直司	仏教はいつから仏教と呼ばれるようになったか
2006.10.30	佐藤隆彦	—法界ソリヤ法について
2006.11.20	大塚伸夫	『孔雀明王経』の密教的展開
2006.11.29	棚次正和・山脇雅夫・室寺壽	「密教と現代社会の問題」についてのワークショップ①
2006.12.13		「密教と現代社会の問題」についてのワークショップ②
2007.1.15	藤田光寛	大乘戒と三昧耶戒
2007.1.22		「密教と現代社会の問題」についてのワークショップ③
2007.1.23	田中悠文	二十五箇条『御遺告』と弘法大師 法をめぐって
2007.5.14		タング・リンポチェ談話会
2007.5.28	奥山直司	ベンガル仏教史に関する一考察—バングラデシュの遺跡と遺物を手掛かりに—
2007.6.25	安藤和雄	ベンガル仏教世界が伝える古代農業における技術変化と伝播

2007.7.9	外川昌彦	ベンガルのバウルについて
2007.7.23	静春樹	インド初期中世における仏教の地勢：Davidson M.R.著 Indian Esoteric Buddhism の紹介
2007.10.1	佐藤隆彦	字輪観について
2007.11.5	山脇雅夫	宗教的コミュニケーションーデュルケームの宗教論を手がかりに
2007.11.5	室寺義仁	『五大にみな響きあり』・空海のコトバ論をめぐってー空海の『声字実相義』に至るまでー
2007.11.5	中村本然	『五大にみな響きあり』・空海のコトバ論をめぐってー空海の『声字実相義』以降の展開ー
2007.11.26	大塚伸夫	『請観世音菩薩消伏毒害陀羅尼呪経』における初期密教の特徴ーウパーセーナ比丘説話を中心としてー
2007.11.26	高松哲雄	臨床と宗教家の役割
2007.12.22	手島勲矢	聖典の言語と人間の言語：ラビ・ユダヤ教の聖書解釈から (1)
2007.12.22	棚次正和	『声字実相義』への言語論的アプローチ (1)
2008.1.28	手島勲矢	聖典の言語と人間の言語：ラビ・ユダヤ教の聖書解釈から (2)
2008.1.28	棚次正和	『声字実相義』への言語論的アプローチ (2)
2008.1.28	生井智紹	祈りの表現としての宇宙ー『大日経』の語曼荼羅と秘密莊嚴住心の関連からー
2008.6.30	佐藤隆彦	三密行について

2008.7.15	安藤和雄	アティーシャのみたチベット・ネパールの農村風景—2005年8月27日～9月12日の見聞記—
2008.10.27	奥山直司	青海藏族と仏教文化—『センシヨン年代記』と「センシヨン史壁画」を中心に—
2008.11.4	苔米地等流	『理趣経（百五十頌般若経）』の新出サンスクリット写本について
2008.12.15	大塚伸夫	『大吉義神呪経』に見られる初期密教の様相
2008.12.16	棚次正和	五大にみな響きあり・空海の『声字実相義』を読む—
2008.12.16	生井智紹	『吽字義』にみる「ことば」
2009.2.2	手島勲矢	フィロソフィアと宗教思想の間合いについて—ヘブライ大学哲学科の誕生秘話に想う—
2009.2.2	中村本然	『辯頭密二教論』にみる「ことば」
2009.6.29	奥山直司	チベット仏教圏形成の力学
2009.7.27	斎藤明	仏教用語と現代—『日英基準訳語集』『主要用例集』の構築に向けて—
2009.10.19	岩崎日出男	密教と道教の関係について—従来説の批判を中心に—
2009.11.9	大塚伸夫	『檀特羅麻油述経』に見る初期密教の特徴について
2009.12.7	佐藤隆彦	性相本有説について
2010.1.25	藤井淳	『空海の思想的展開の研究』拾遺
2010.2.15	辻村優英	ダライラマが語る仏教用語の英語表現について

2010.2.15	船山徹	漢訳語「戒」「律」「戒律」について—菩薩戒関係テキストとの関連で
2010.6.22	南昌宏	空海『梵字悉曇字母并釈義』における典故の確定—弄玉難信・案劍夜光について—
2010.7.12	中村本然	『常磐井殿記録』に関する調査報告
2010.7.12	淵田雲溪	後宇多法皇の密教受法を中心として
2010.10.12	有田秀穂	セロトニン・脳波測定からみた仏教・密教瞑想の現代的意味
2010.11.29	大塚伸夫	『十一面観世音神呪経』の形成と展開について
2010.12.6	藤井淳	『三教不斉論』の所在確認について
2011.2.23	斎藤明	ナーガールジュナと戯論（プラパンチャ）
2011.7.7	鈴木晋玲	脱世俗化社会における伝統教団の役割
2011.7.14	佐藤隆彦	引導作法の形成と展開
2011.9.27	井上ウィマラ	マインドフルネス瞑想の臨床への応用可能性
2011.11.17	大塚伸夫	初期密教時代にみられる二系統の密教化潮流について
2011.12.1	森雅秀	灌頂研究の現在
2011.12.1	森崎雅好	自殺ハイリスク地での自殺防止活動と調査研究
2011.12.15	下西忠	近松の遍路
2011.12.15	中村本然	道範の生没年について
2012.2.21	室寺義仁	仏教思想に係わるパーリ聖典用語について—「四念処」「四梵住」「無我と非我」「無常」「苦」—
2012.2.21	船山徹	漢訳語『毘婆娑』の意味と問題点

2012.9.27	川田薫	真言密教と科学の初歩的な比喩論 その1 六大と科学
2012.9.27	南昌宏	空海「贈野陸州歌」の欠字を補う試み
2012.11.1	大塚伸夫	第二期時代の初期密教の特徴について
2012.11.22	乾仁志	"金剛界マンダラに描かれる賢劫千仏"のその後
2012.12.6	静春樹	インド密教金剛乗の全体図明確化への途上で—サキャ派祖師たちの「タントラ現観」およびアティシヤの事例
2012.12.13	鈴木晋玲	既成教団の課題と寺院・僧侶のあり方—総合調査から見えてくること—
2012.12.13	下西忠	西行歌「けふや君」の解釈—美福門院の納骨—
2013.1.10	森雅秀	戦時中の熱河における逸見梅栄の「喇嘛教」調査
2013.1.10	佐藤隆彦	唯一神道と十八道次第の関わり
2013.1.10	井上ウィマラ	東日本大震災復興支援活動から見えてきたもの
2013.1.17	加納和雄	チベット伝存の仏典梵文写本の由来・伝播および近年の研究動向
2013.1.17	森崎雅好	被災地の復興期における僧侶の役割について
2013.2.19	室寺義仁	仏教瞑想に係わるパーリ聖典用語について—「四念処」「四梵住」「無我と非我」「無常」「苦」—（まとめ）と「三法印」について
2013.6.12	日野西眞定	高野山の民俗

2013.7.24	井上ウィマラ	解脱/悟りとレジリエンス
2013.8.1	室寺義仁	「法印」(dharmamudrā)の三特相と菩薩にとって四つの標語(dharmoddesa)
2013.8.1	船山徹	玄奘の「五種不翻」説と音訳の意義
2013.10.2	北川真寛	日本密教における六度行について一特に論義書を中心として一
2013.11.13	大塚伸夫	初期密教の第三期時代における密教形態について
2013.11.13	大柴清圓	『古今文字讃』について
2013.12.11	鈴木晋玲	文明論としての原発問題一宗教者の一視点として一
2013.12.11	静春樹	インド仏教金剛乗の解脱システム解明をめざして
2013.12.11	石部道明	『ガリム』における究竟次第の特色
2013.12.13	森雅秀	鶴見大学図書館所蔵の逸見梅栄コレクションにみられる注目すべき作品
2014.1.29	下西忠	西国三十三ヶ所の巡礼歌をよみ解く一紀伊国三ヶ寺を中心に一
2014.1.29	加納和雄	近年の初期ガンダーラ語大乘仏典写本研究について一研究紹介と雑感一
2014.1.29	森崎雅好	自殺ハイリスク地で保護された自殺ハイリスク者の特徴一自死念慮が消失した事例を通じて一
2014.5.20	神田英昭	日本を離れてタイで仏教を考える

2014.7.2	北川真寛	『中壇・自行略次第』について
2014.7.30	井上ウィマラ・柴谷宗叔	ケアの循環という視点からみた密教と巡礼
2014.7.30	吉田唯	高野山大学図書館所蔵の神道書について
2014.9.29	室寺義仁	「無心」と「唯心」—「無心」の心から心を捉えるアビダルマ教義解釈の思潮と「唯心」なる大悲の心を打ち立てる大乘経の思潮—
2014.10.29	瀬岡吉彦	『大日経』の構造—瑜伽行と慈悲行
2014.10.29	アーロン・プロフィット	東アジアの秘密蔵における浄土教
2014.11.19	静春樹	マイトリパの僧院追放とアティシャ
2014.12.10	鈴木晋玲	子弟養成における宗教的情操教育のあり方
2014.12.10	八木高秀	精神医学的視点で俯瞰した空海の生涯—空海の病跡（双極性障害との関連）
2014.12.17	森本一彦	高野山における人の移動—『金剛峯寺諸院家析負輯』を中心として
2015.1.28	森崎雅好	自死遺族への支援の在り方について
2015.7.29	井上ウィマラ	GRACEプログラムを受講して 死の臨床における仏教実践の最新成果から
2015.9.30	室寺義仁	医療者と協働できる仏教者育成の可能性について
2015.10.28	黒木賢一	心理療法におけるマンダラの意味—マンダラ描画法の事例から—
2015.11.25	八木高秀	空海御影図の成立と変容に関する多角的検討
2015.11.25	北川真寛	一門普門について—論義書を中心として—

2015.12.9	土居夏樹	真如と真言—第九極無自性心深秘釈段を中心に—
2016.1.13	大柴清圓	『篆隸萬象名義』の校訂研究—原本『玉篇』との比較研究を中心に—
2016.1.13	ドルジイ・ケルサン	『見解分別』におけるツォンカパ批判の研究—世俗諦を中心として—
2016.1.27	室寺義仁	医療者と協働できる仏教者育成の可能性について
2016.1.27	淵田雲溪	非情仏性における—考察
2016.9.30	鈴木晋玲	伝統の創造—真言密教の実践的展開における教学の位置づけ—
2016.9.30	岡田英作	瑜伽行派における種姓説の展開
2016.10.14	北川真寛	五仏心王について—論義書を中心に—
2016.10.14	土居夏樹	理法身説法について
2016.11.18	黒木賢一	ユングにおける東洋—精・気・神、そして自己—
2016.11.25	淵田雲溪	南山進流における流伝について
2016.12.2	大柴清圓	大名草彦命高野明神説—丹生氏の”外戚”の初祖として—
2017.1.13	蒲池和憲	資料紹介—伝授類聚鈔
2017.1.13	趙新玲	『諸阿闍梨真言密教部類總録』の成立について
2017.1.27	八木高秀	清瀧智龍「高祖の医療観」（『高祖の聖影』六大新報社）と背景
2017.1.27	室寺義仁	「人を愛する」観方について—「大悲」の教えに立って観る—

2017.10.6	徳重弘志・岡田英作	プダク写本の経函末部に付された「註釈文」について
2017.11.17	八木高秀	京都「済世病院」における院長・小林参三郎と主事・清瀧智龍、布教師真井覚深の役割と関係
2017.12.9	ドルジイ・ケルサン	チベット密教における脈と気の研究
2017.12.15	大柴清圓	弘法大師の二十五歳得度・三十歳受戒説
2018.1.12	澗田雲溪	南山進流における東南院寛光の所伝について
2018.1.26	高柳健太郎	『宗義決択集』に見る弘法大師の思想の展開
2018.1.26	北川真寛	真言密教における闡提成仏について一論義書を中心に一
2018.1.26	木下浩良	高野山奥之院発見の赤松政則宝篋印塔について
2018.10.19	徳重弘志	如意輪観音の名称に関する新出資料
2018.11.16	木下浩良	高野山金剛三昧院発見の足利宗氏五輪塔
2019.10.17	徳重弘志	イエズス会宣教師の書翰に基づく16世紀の真言宗
2019.10.17	北川真寛	南山学道の歴史一勸学会における打集を中心に一
2019.11.15	木下浩良	新出の高野山奥之院鎌倉期五輪卒塔婆一卒塔婆の起源と高野山町石のタイプ分類一
2020.11.20	木下浩良	高野山奥之院豊臣家墓所石塔調査概報